

01908813810003



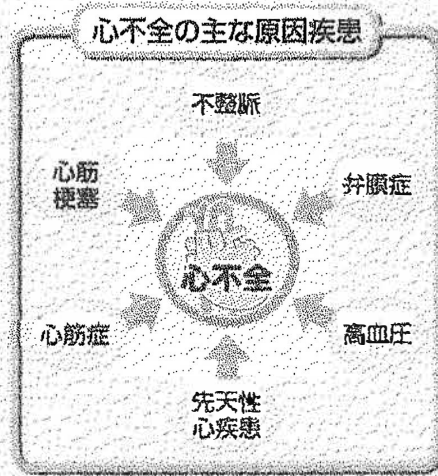
# 心不全

鈴木 知己

眞医師会



## 心不全とは



いことも多く、息切れがあつても年のせいと見過ごされがちです。風邪をきつかけに、心不全が増悪することも少なくありません。心不全による脳血流低下により、認知症や精神症状が現れることもあります。

高齢者は全身の水分量が少ないため、脱水により容易に心拍出量が低下しやすく、逆にむくみが現れやすいのも特徴です。

## 息切れ、むくみに注意

また、呼吸器疾患や腎臓器障害など他臓器に合併症

心不全とは、一般向けには「心臓が悪いために、息切れやむくみが起り、だんだん悪くなり、生命を縮める病気」と定義され、さまざまな心疾患が最終的に至る病態を意味します。主な原因として、高血圧や弁膜症、心筋梗塞、心筋症、先天性心疾患、不整脈などがあります。

心臓のポンプの動きが低下すると、全身にいろいろな症状が現れます。代表的

なもの、動悸や息切れ、進むもの、夜、床を有することも少なくなく、呼吸困難、むくみです。最初は坂道や階段を上る時に、動悸や息切れが起り、進む

行すると平地を歩いても息が切れる、むくみが出る、亡率が高い、心不全が難治性で死つていきます。

期間での体重増加は要注意、心不全を悪化させないため、適切な治療や対策を早期に行うことが重要です。心不全症状に気づいたら、なるべく早く循環器専門医を受診してください。

鈴木 知己(すずき ともみ) 1959年生まれ。杏林大学卒業、岩手医科大学大学院修了。同大付属循環器内科センター講師・CCU医長を経て、鈴木内科医院(盛岡市)院長。盛岡市在住、同市出身。

活で症状がはっきりとします。